

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

わがまちの道徳教育推進プラン		所管する小学校名	芸西小学校	校数	1校	計	2校
芸西村教育委員会		所管する中学校名	芸西中学校	校数	1校		
道徳教育推進方針		保・幼・小・中・家庭・地域が連携した道徳教育の推進 — 規範意識や自尊感情を高める取組を通して—					
年度当初の拠点地域の状況		到達目標	中間検証(下半期に向けての改善事項)	到達目標達成状況			
<p>地域の児童生徒の道徳性の実態を把握するために、年度当初に行った道徳意識調査の結果から、7項目中3項目は、肯定的回答が85%以上であった。しかし、家の人と道徳の話をしたリ、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしているの項目が37.4%と低い割合となった。</p> <p>また、「自分には、よいところがあると思う。」という項目においては、74%と自尊感情が低い結果となっている。「夢・志」「社会貢献・郷土愛」の項目については、約80%で目標値を少し下回っている。</p>		<p>道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</p> <p>① 家庭で道徳の話をしたリ、高知の道徳を活用したりする。80%以上</p> <p>② 「自分には、よいところがあると思う」5ポイント以上向上</p> <p>③ 「将来の夢や目標をもっている。」5ポイント以上向上</p> <p>④ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」5ポイント向上</p> <p>その他の項目については、年度当初の数値を維持する。</p>	<p>道徳教育推進地域の推進方針の徹底を図るとともに、学校便り・学級通信等に学期に1回以上掲載し、取組を共有しながら内容を充実させていく。また、進捗状況を確認(シート)しながら計画的に進めていく。</p> <p>「高知の道徳」については、あまり活用がされていなかったため、授業を通して家庭での活用につなげていく。また、自尊感情を高めるために、肯定的な声掛けや評価を心掛け、お便り等で家庭にも知らせていく。</p>	<p>① 「家庭で道徳の話をしたリ、高知の道徳を活用したりする」は、47.3%で到達目標を大きく下回った。</p> <p>② 「自分には、よいところがあると思う」は、74%で年度当初と変化なかった。</p> <p>③ 「将来の夢や目標を持っている」④ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」も到達目標には達しなかったが、それぞれ2.2ポイント、3.9ポイント向上した。</p> <p>その他の項目についても、わずかではあるが向上した</p>			
到達目標達成のための取組		取 組 計 画			指標達成状況の分析		
取組項目	取組の評価指標	5月～8月	中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)	達成状況	年度末評価	
道徳教育の主体的な推進体制の整備	○小・中学校において、道徳教育推進のための校内体制ができている。	①道徳教育推進委員会(3回) ・各校の道徳教育推進教師を中心とした推進体制の確認 ・児童生徒意識調査の協議・取組策の検討	B	①道徳教育推進委員会(3回) ・意識調査の検証を踏まえた取組改善策に基づく実践の報告・検証	・小・中学校において校内推進体制を整備し、進捗管理ができた。	A	
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	○道徳授業力チェックシート【教師用】【児童生徒用】における各校のポイントを年度当初より向上させる。	①小学校における授業研究の実施 ②道徳教育推進委員会において授業力チェックシートの結果について協議・改善策の検討 ③小学校ブロック研、中学校道徳参観日において道徳推進リーダーを招聘して助言等をいただく。	B	①小・中学校における授業研究の実施 ②道徳教育推進委員会において授業力チェックシートの検証を踏まえた各校の授業改善に基づく実践報告・検証 ③小学校ブロック研において道徳推進リーダーを招聘して助言をいただく。	・授業力チェックシート【教師用】3.0→3.3 項目別では、「ねらいの設定」以外は年度当初ポイント同等もしくは上昇 【児童生徒用】3.6→3.7 すべての項目において年度当初ポイントより上昇	A	
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	○小・中の公開授業研究は全校研とし、全教職員で取り組みの共通理解を図る。 ○学校便り等で道徳に関する内容を掲載し、中学校区内に配付する。	①小学校ブロック研(1回) ・中学校道徳教育推進リーダーの参加 ②各校の学校便りや学級便り等で道徳に関する内容を記載	B	①公開授業研究(2回)・ブロック研(1回) ・効果的な公開授業研究の実施 ・講師招聘(助言・講話) ②道徳教育推進委員会における取組の成果報告・改善策検討	・公開授業研究2回、ブロック研2回には、小中学校の教職員約30名が参加できた。その際、道徳推進リーダーや大学教授を講師に招聘し、研修を深めることができた。 ・学校便り等で道徳に関する内容は掲載できたが、中学校区内への配布はできなかった。	B	
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	○「高知の道徳」を活用した授業や懇談会を全学年で実施する。 ○各校の道徳参観日への保護者参加率を各学年70%以上、全体で80%以上にする。	①家庭・地域との連携の方策の具体策の協議 ・「高知の道徳」の計画的な活用 ②道徳参観日(小・中) ・保護者参観アンケートの実施、分析	C	①今後の家庭・地域との連携の方策の具体策の協議 ・学校便り等で道徳に関する内容を記載(学級通信に学期に1回以上掲載) ・「高知の道徳」の計画的な活用(実施状況の確認) ・学級通信への掲載や「高知の道徳」の活用状況について、「進捗状況確認シート」を作成し、進捗管理を行う。	・「高知の道徳」を活用した授業や懇談会を全学年で実施できた。 ・道徳参観日への保護者参加率は、各学年70%以上、全体で80%以上は達成できなかった。	B	

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)